

尾瀬



至仏山



燧ヶ岳



- 期 日 平成15年10月13日(月)～14日(火) 1泊2日
- 天 気 13日…10時まで曇・あと雨
14日…朝曇り/午前晴れ/午後曇り/2時30分から雨
- 参加者 山に遊ぶ人3人
- 宿泊地 東電小屋(尾瀬ヶ原)
- コースタイム (荷物12kg)
13日(月)

五日市	車	—	4:00	
日の出IC		4:20	4:20	
沼田IC		5:30	6:10	L=136km 高速道路 3,900円 沼田で朝食
戸倉	タクシー	7:05	7:15	L=179km タクシーのタクシー1人900円 鳩待峠までの間紅葉が素晴らしい。
鳩待峠		7:40	7:45	登山者調査を行なっている。 本日56人目の至仏山登山者とのこと。
オヤマ沢田代	徒歩	9:10	9:10	尾瀬ヶ原から燧ヶ岳が見える。
小至仏山 (2,162m)		9:30	9:30	木道の階段の登りが続く。
至仏山 (2,228m)		10:20	10:30	頂上手前で雨が降り出す。雨の何も見えない頂上
小至仏山		11:10	11:10	蛇紋石の非常に滑りやすい岩尾根
オヤマ沢田代		11:30	11:30	雨が降り続く。登山道を水が流れ歩きづらい。
鳩待峠		12:45	13:00	登山道を水が流れ依然として歩きづらい。 鳩待峠は、登山者で混んでいる。
山の鼻		13:50	14:15	歩きながら昼食を取る。
牛首		14:45	14:45	尾瀬ヶ原の中を歩くだけ。
ヨッピ橋		15:15	15:15	雨の中歩いている人はほとんどいない。
東電小屋		15:30	—	空いている。宿泊者…15人位

14日(火)

東 電 小 屋	徒歩	——	5 : 0 0	4:00 起床・小屋で朝食・雨が上がっていた。
見 晴		5 : 3 0	5 : 3 0	懐中電灯ここまで必要。
燧ヶ岳 (柴安嶺) (2,356m)		8 : 3 0	9 : 0 0	見晴新道・最初は、樹林帯の中の登り。 温泉新道を合せて頂上まで急な登り。 尾瀬ヶ原、至仏山の眺望が抜群。
燧ヶ岳 (俎嶺) (2,346m)		9 : 2 0	9 : 3 0	霧氷が綺麗・雲海の中に会津駒、越後駒、 平が岳、奥白根、男体山などが見える。
ミ ノ ブ チ 岳		9 : 5 0	9 : 5 0	頂上より急な下り。ここまで森林限界
尾瀬沼ビジターセンター		12 : 15	12 : 35	樹林帯の中の下り。登山道に水が沢のよう に流れている箇所や泥んこの状態が続き 非常に歩きづらい。昼食を取る。
三 平 下		12 : 55	12 : 55	尾瀬沼と燧ヶ岳が良く見える。 紅葉は、少し遅い。
三 平 峠		13 : 10	13 : 10	最後の登り。
一ノ瀬休憩所		13 : 55	14 : 05	この間の紅葉は見事である。モジ・ナカド・ などが特に綺麗。
大 清 水		タクシ-	14 : 45	14 : 45
戸 倉	15 : 00		15 : 25	バスが見えていたが発車してしまいタクシ-
沼 田 I C	車	16 : 50	16 : 50	途中で夕食20分(ラーメン)
日 の 出 I C		18 : 15	18 : 15	雨が降り続く。高速代・・・3,900円
五 日 市		18 : 35	——	L=360km

費 用

交通費	日の出IC～沼田IC(片道)	3,900円
タクシー	戸倉～鳩待峠(1人当り)	900円
	大清水～戸倉(1台当り)	3,000円
宿泊費	東電小屋(1泊2食・弁当込み・1人当り)	9,200円
駐車料	戸倉駐車場 2日間・1台当り	2,000円

○ そ の 他

13日は、雨で景色が見えず至仏山へ登っただけ。
紅葉は、尾瀬ヶ原・尾瀬沼より下が見頃。特に、三平峠～一ノ瀬休憩場にかけては素晴らしい。
至仏岳の登山道は、蛇紋石で滑りやすい。雨のため、山の鼻へ直接下らず鳩待峠に引き返した。
燧ヶ岳の山頂は、雲の中からの会津の山、越後の山、日光連山が見えた。また、霧氷も見える。
燧ヶ岳の下りは、グジャグジャで歩きづらい。
コースが長く、時間に余裕のない行程であった。

